

活動報告

団体名	訪問ボランティアナースの会 キャンナス熊本
活動名	熊本地震における仮設団地の見守り支援及びコミュニティ形成のための活動
活動期間	2016年9月～2017年9月
活動の成果	<p>テクノ仮設団地における見守り支援を行っています。これまでの支援で、仮設団地の保健室的役割、御用聞きとしての役割を果たし、住民の方の安心感につながったと感じています。一つ一つの困りごと・悩み・不安に対し真摯かつ丁寧に対応したり、繰り返し訪問し傾聴することで、一年経った現在では、「キャンナスがいるから安心して暮らせる」という声も頂けるようになりました。</p> <p>イベント活動としては、医療専門職であることを生かし、毎月の健康相談会を開催し、医師や看護師、歯科衛生士、管理栄養士などのメンバーが住民の方の健康に対する不安を聞き取る相談会を行っています。また毎回災害の度に懸念されている「孤独死」の予防のため、男性限定の集う場「BAR キャンナス」を開催しています。普段外に積極的に出ることのない男性の方にお酒の場を提供し、男性同士気兼ねなく話ができる場を設け好評価を得ています。その他、農業を営む農家が震災で売り場を失ったことから、販売の機会と販売へのモチベーション向上のために「テクノ朝市」を開催しています。こちらも仮設内外の交流の場として、また販売の機会として大きく寄与しています。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>仮設住宅での支援は、行政の考える支援よりももっと複雑で多様性に富み、臨機応変な対応や取り組みが必要です。</p> <p>しかし仮設支援の限られた業務委託費の中でこのような取り組みをやっていくのは非常に困難であり、資金を必要とします。</p> <p>このように寄付を頂き助成して下さることで、私たちの理想とする必要な支援を行うことができ、本当に感謝しかありません。</p> <p>皆様のご厚意に感謝し、住民の方に寄り添った温かい支援をこれからも行っていく所存です。</p> <p>スタッフ一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。</p>

(活動のようす)

